

静 測 協 第 49 号
令和 6 年 11 月 13 日

土木積算 S・E 資格者を有する会社各位
土木積算 S・E 資格者各位

(一社) 静岡県測量設計業協会
土木積算システム運営委員会
委員長 服 部 剛 明

土木積算 S・E 資格者について (お願い)

拝啓 時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この 10 月 1 日に土木積算初級講習会 (後期・確認試験) が終えて、10 月 28 日に土木積算システム運営委員会を開催して合格者等の協議を行いました。

この中で、正答率について話し合われ、下記につきまして注意して積算業務に取り組んでいただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 試験問題は、積算基準書関係、積算システム関係、端末管理規程、S・E 要領、仕様書等広範囲から出題されますが、大半を占める一番大事な積算基準書関係と積算システム関係の問題のうち、積算基準書関係の正答率が特に低いことが分かりました。
2. 積算するにあたり、積算基準書と積算体系をしっかりと理解していることが最重要であります。
3. 土木積算 S・E は、設計成果をもとにゼロから設計書を組み立てていく重要な仕事であります。このため、現場条件に応じ、積算基準書の適用の判断、ST コードの選択等を適正に行う能力が求められています。
4. 単位や ST コード等の選択の間違いから入札中止となるケースも見受けられ、競争も 1 円単位の厳しい時代であることも、改めて認識願います。
5. 積算業務に当たっては、監督員との情報共有を密に図りながら実施いただくようお願いします。